

2はとだより2月



発行

第2はとのさと保育園
加古川市加古川町南備後317
発行責任者 大脇良介
2024年2月1日



先月は、いきなり年初めに能登での地震に驚きました。今も避難生活で過ごされている方がいることを思うと、いつものように衣食住があることが本当にありがたいことに思えます。また、ウクライナとロシアの対立や、イスラエルとガザの対立による戦争も、早く終結してほしいと思います。



裏庭で氷を発見！（れんげ組）

2月は節分があります。節分はもともと季節の分かれ目には、災いが起きるとされ、それを追い払うための行事として行われてきたようです。鬼は災いが姿を変えたものとして考えられてきました。確かに、地震や風水害、感染症などの天災、さらに人災も含め、今でも私たちは様々な災害に備えないといけません。昔の人々も必死な思いで、鬼を追い払い、福を呼び込もうとしたのだらうと思いますが、科学や文明が進歩した今でも、鬼を追い払い、福を呼び込みたい気持ちは同じですね。そういう意味でも、保育園での節分は鬼が子どもたちを怖がらせるためのものでなく、子どもも大人も悪いもの、マイナスのものや感情を追い払い、幸せや喜びの感情を呼び込めるようなものにしたいと思います。

先日、年長のたいよう組さんと一緒に鶴林寺に行き、住職さんに鬼の話を聞きました。「鬼は悪いものだけど、良い鬼もいるんだよ」とお寺のお堂の屋根のあちこちに迫力のある顔をした鬼瓦があることに気づかせてもらい、「みんなを悪いものから守ってくれる鬼もいるんだよ」と言う話も教えてもらいました。子どもたちは鬼瓦を間近で見て、「こわいなあ」「強そう～」と言いながら、鬼の表情を真似ていました。



ごっこ遊び楽しいなあ（たんぼぼ組）



そして、今月は「お話遊びの会」があります。今年度してきた様々な遊びや体験は、ごっこ遊びや劇づくりなどに全部つながっていきます。今年度は、プログラムと合わせてこれまでの遊びや取り組みの経過などをお伝えするものも配布しようと思いますので、ぜひ当日までに目を通してもらえればと思います。

（園長 大脇良介）

たいようぐみは、「じごくのそうべえ」の劇に取り組むにあたって、鶴林寺の住職さんのお話を聞きに行きました。貴重な文化財を見せてもらいながら、「鬼」ってどんなもの？「じごく」ってどんなところ？と興味深く話を聞かせてもらいました。みんなイメージが深まったようです。



2月の予定

日程	行事名	内容
2日（金）	節分 	「おにはそと～ふくはうち～♪」と各クラスで歌を歌ったり、鬼のお面づくりなどを楽しんでいます。子どもたちは新聞紙などで手作りの豆をつくり、鬼を追い払います。年長さんはおやつにかんぴょうの巻きずしを自分たちで巻きます。鬼を追い払い、無病息災を願う一日にしたいと思います。
8日（木）	お話遊び見せ合いっこ	お話遊びの会に向けて、みんなで今遊んでいること、取り組んでいることをやってみて、他のクラスのお友達にも見てもらいます。いろんな人に見てもらって、応援してもらったり、感想をもらう機会にもしたいと思います。
15日（木）	お話遊び見せ合いっこ	
20日（火）	お話遊びの会リハーサル	本番前のリハーサルです。出来るだけお休みのないようお願いします。
24日（土）	お話遊びの会	お話遊びの会当日です。詳細は後日、プログラムなどと合わせて配布します。
27日（火）	内科健診 	来年度の在園児を対象とした内科健診です。0～4歳児クラスの園児さんが対象です。出来るだけお休みのないようお願いします。
28日（水）	避難訓練（火災）	近隣からの出火による火災を想定した避難訓練を行います。

※その他、加古川市、保育協会の主催するキャリアアップ研修に職員が参加する予定です。

「ちいさいなかま」読んでみませんか？

保育者と保護者を結ぶ雑誌「ちいさいなかま」は毎月、保育を取り巻くいろんなテーマが特集されています。（例えば…「今どきおさんぽ事情」「保護者が知りたいのは…」「ヘトヘトです。仕事と子育て」など）目を通すことで、お母さん、お父さん、保育士、調理師、栄養士、看護師、主任や園長・・・などなど保育園を取り巻くいろんな人が考えていること、そして何より子どもたちが考えていることが見えてくる雑誌です。

私はもう17年以上購読し続けていますが、いつも読むたびに、「そうやったんか～」とか「そうだよなあ…」とか「なるほど!」とか思うことがたくさんあります。特にオススメは「聞いてください 保育・子育て私の悩み」の記事。保育や子育てでの悩みについて、色んな立場の人が優しく答えてくれます。

私は「ちいさいなかま」の読者が増えると、それだけその保育園の保育が豊かになる!と大げさでなく本当に思っています。

4月号から読んでみようかな…と思う人は、ぜひ大脇まで気軽に声をおかけください。





各クラスの様子と2月の保育内容



れんげ(0歳児)

寒さ知らずの子どもたちは寒い日の朝裏庭の池の水を素手で持って遊びこの時期ならではの自然物に触れてみたり、またハイハイや歩いて自分の行きたい所に自由に散歩して楽しんでいます。絵本読みでは自ら「これ読んで」と絵本を持って来るようになりました。『ととけっこうよがあけた』で友だちに声をかけながら起こしてみたり、保育者がふれあい遊びの歌を歌い始めるとお友だちと手を繋ごうと誘いに向かい保育者だけでなくお友だちと関わろうとする姿へも成長してきています。

身の回りのことを大人に援助してもらおうと甘える姿もまだまだ見られます。片方だけお手伝いをして気持ちを受け止め、次へと繋がる援助や声掛けを心掛けています。お友だちが自分でズボンやオムツをはこうと挑戦している姿を見て「自分で！」の姿も見られるようになってきているれんげ組です。保育者だけでなく友だちの存在に気付き始めまねっこが増えているので、他児の姿を見てやってみたいと思えることを増やし挑戦していきたいです。

ぞら(3歳児)

1月は正月ならではの凧揚げやこままわしなどをして遊びました。辰の凧をはさみを使って切って作り、園庭でくるくるとまわっている姿を喜びたくさん走っていました。みんなで戸外で遊んでいる時に雪が降り、キラキラとした表情で眺め「ゆーきやこんこんあられやこんこん！」と、歌って大はしゃぎする場面もありました。

室内ではお話し遊びの会にむけて様々な絵本を読み遊んでいます。なりきる時の身体の使い方や台詞も「そうじゃないで！こやってやるねん。」など、大人も顔負けなほど子どもたちの観察力は鋭いです。子どもたちから「この役がいい！」という自主性も現れています。1つの物語をそれぞれが楽しみ、それがみんなに広がっていけるようにこれから取り組んでいきたいと思えます。

たんぽぽ(1歳児)

1月に入って、たくさんお話ができるようになり言葉のやりとりを楽しんでいます。「自分がしたい」「自分が使いたい」という気持ちから、友だちとトラブルになることもあります。その都度保育者が仲立ちとなって言葉で伝えられるようにしています。「かして」と言えた時は十分にその姿を認め…ということを繰り返していく中で、少しずつ言葉で伝えられるようになったらいいなと思っています。

発表会に向けて、絵本遊びも始まり子ども達はとっても楽しんでいます。何も無い空間の中でも、「あっちにおぼけおで」「いいものあった」など、絵本の世界を楽しんでいます。保育者発信だけでなく、子ども達からたくさん声が聞こえてきて、たんぽぽ組みんなで楽しめるようになってきています。発表会当日も、のびのびとした子ども達の姿が見てもらえたらなと思います！

にじ(4歳児)

生活発表会の取り組みが始まりました。最初、どの題材にしようか悩んでいることを子どもたちに伝えると、「順番に遊んだらいいやん！」と一人の子が言い、他の子も「それいいやん！」と賛同したので、子ども達の反応が良かった絵本数冊で順番にごっこ遊びをしました。その中で一番子どもたちが自分たちで話を進めていき、言葉もよく出ていたのが「さるかに」でした。この絵本に決めると、毎日のように「さるかにしたい」とお話遊びをするのを楽しみにしています。今は登場人物がどのように動くかみんなで考えてなりきって遊んだり、絵本の難しい言葉をかみ砕いて、意味を理解して絵本の世界をイメージできるようにしたりしています。みんなで話し合いをしていく中で、今までなかなか自分の意見を言えなかったり友だちの影に隠れていたりしていた子が、発言をしたり身体表現を楽しむ姿が見られたりして、今までとはまた違った一面を見せてくれています。取り組みの中で、子どもたちがこれからどんな姿を見せてくれるのか楽しみです。

つき(2歳児)

一月に入り、寒さに負けず元気いっぱい遊んだつきぐみさん。先月から始まったパジャマが嬉しいようで「お着替えるよ」というと「〇〇のパジャマ持ってきた」と友達同士でやりとりを楽しむ場面が見られています。また、ボタンにも挑戦し、「手伝って」と言いながらも自分でやってみようとする姿が見られ、自分でつけはずしができる子が多くなってきました。

子ども達は絵本遊びが大好きで、登場人物になりきり「へびがきた」「ここにごはんあったよ」など保育室をいっぱい使って遊んでいます。また、日常のごっこ遊びも楽しんでいます。生活発表会に向け、子どもたちとやりとりやなりきりを楽しみながら遊び込んでいければと思います。

たいよう(5歳児)

お正月休みが明け、友達に会えた喜びや一緒に遊ぶ楽しさから、改めて友達の素晴らしさを感じたようでした。かるたとりやコマ回し、すごろくや凧揚げなどの昔からの伝統的な遊びを堪能しました。中でも1つだけの凧を自分たちでルールを決め、遊ぶ姿や年下の友達にも優しく教えてあげる姿は、さすが5歳と感じました。中旬の寒波では氷を作ってみようとバケツに水を張り、氷が出来て大喜び！裏庭の池にはってある氷を協力して割り、「取れたー！」とみんなで持ち上げて楽しみましたよ。

またお話遊びではなかなか題材が決まらなかったのですが、「じごくのそうべえ」を読んだときだけ、「おもしろい～先生もう一回読んで！」と興味津々で、このお話に決まりました。1月は「そうべえの世界を楽しむ」をテーマに持ち、実験をしながら楽しみました。2月は「気持ち」をテーマに役の気持ちを考えてみたりしながら、自信を持って楽しんでなりきれるように取り組んでいきたいと思えます。

こすもす(一時預かり)

寒い日が続いていますが、子どもたちは毎日元気いっぱい外で身体を動かして遊んでいます。

先月は、久しぶりに保育園周りをぶらぶらさんぽに行ってきました。0歳児の子も自分で上手に歩いていますよ。地域の方に出会うと「おさんぽいってきまーす！」と元気にあいさつする子どもたち。用水路の横を通る時は、「おちないように、おちないように」と慎重に歩く姿や水の中を覗き込み「おさかないないね」、「ねてるんじゃない」とお友だちと会話も弾みます。住宅街では新しくお家ができるのか、工事車両がたくさん停まっておりみんな大興奮でした。

1月後半は、節分に向け鬼のお面の製作もしました。年齢に合わせて、鬼の顔に目、鼻、口などを描いたり貼ったりし、それぞれ個性ある鬼ができました。出来たお面で子どもたちと豆まきごっこで遊びたいと思えます。